

教育・保育目標

〔 〕 子どもの姿
【 】 資質能力

〔地球の中で〕
持続可能な未来に向けて、保育者や仲間とともに考え、行動する子ども

保育者と共に体験してほしいこと

- ・自分のため、そして他者のために園や地域の活動に保育者とともに参加・参画する。【参加・参画】
- ・自分の存在・意見が他者を動かす力になることに気付く。【参加・参画】
- ・日常生活における様々な選択が、持続可能性にどのように貢献するかを理解する。【つながりに気づく】
- ・自然のいとなみが全てつながっていること、また人の生活や行動も自然のいとなみとつながっていることに気づく。【つながりに気づく】
- ・持続可能性に対する関心をもつ。【世界を広げる】
- ・自分の世界を広げ、世界の多様性を知る。【世界を広げる】

〔自分から〕

主体的に行動して
なじみの世界を広げ、
自分でやったという充実感を
感じながら生活する子ども

〔創造する〕

試行錯誤しながら探究し、
新しいものや自分なりの考え、
方法を創造し、表現する子ども

〔人とともに〕

ありのままをわかりあい、
分かちあい、
活かしあう子ども

主体性

充実感
満足感

自己
決定

自己
制御

体験してほしいこと

- ・自分の感情や行動を統制する。【自己制御】
- ・自分の行動に責任をもつ。【主体性】
- ・自分で考え、自分で行動する。【自己決定】
- ・自分らしさを大切にする。【主体性】
- ・自信をもって行動する。【自己決定】
- ・生活に見通しをもって行動する。【充実感・満足感】
- ・自分のやりたいことに向かって伸び伸びと取り組む。【主体性】
- ・安定感をもって行動する。【自己制御】
- ・生活やあそびの中で出会う様々なものごとに親しみ、楽しんで取り組む。【充実感・満足感】
- ・身近な環境に興味、関心を持ち、主体的にかかわる。【興味・関心】

思いつく

工夫
探究

やり
遂げる

多面的に
考える

体験してほしいこと

- ・多面的な視点から考え、思考を広げて深める。【多面的に考える】
- ・粘り強く取り組み、失敗してもやりとげようとする気持ちをもつ。【やり遂げる】
- ・ごっこ遊びや絵本などを通して、空想の世界と現実を行き来する。【多面的】
- ・予測して確かめ、試行錯誤を重ねて探究する。【工夫・探究】
- ・自分なりに比べたり、関連づけたりしながら考える。【工夫・探究】
- ・考えたことを形にする喜びを味わう。【思いつく】
- ・新しいことや、アイデア、方法を思いつく。【思いつく】
- ・工夫しながら遊ぶ。【工夫・探究】
- ・見立てる・ふりをするなど空想の世界を楽しむはじめる。【思いつく・多面的】
- ・豊かな感性で、表現を楽しむ。【思いつく】
- ・ものごとの性質や仕組みに気づき、興味関心をもち、不思議に思う。【興味・関心】

親しみ
信頼

言葉
コミュ

違いに
気づく

協力
協同

体験してほしいこと

- ・公平・公正の感覚を身につける。【協力・協同】
- ・一緒に生活し楽しむ中で、きまりの大切さに気づき、守ろうとする。【協力・協同】
- ・友だちと共通の目的を見いだして、協力して取り組む。【協力・協同】
- ・自分が役に立つ喜びを感じる。【協力・協同】
- ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気づく。【違いに気付く】
- ・自分や他者のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。【親しみ・信頼】
- ・自分の気持ちを言葉で表現し、伝え合う喜びを味わう。【言葉・コミュニケーション】
- ・保育者や友だちと親しみ、愛情や信頼感をもつ。【親しみ・信頼】
- ・表情や動き、言葉で人と気持ちを通わせようとする。【言葉・コミュニケーション】
- ・様々な人がいることに気づき関心を持つ。【興味・関心】

基盤となる体験

【興味・関心・共感】

- ・興味関心をもって様々な環境（ひと・もの・こと）にかかわる。／園生活を楽しむ。
- ・園庭や地域の自然に親しむ。／五感を使い、さまざまな感覚を味わう。
- ・喜んだり、泣いたり、怒ったり、さまざまな情動を体験する。／気持ちや思いを他者と共有する。（共感）

【安心・安定】情緒の安定

- ・園にかかわるすべての人が多様なままだに受け入れられ大切にされて過ごす。
- ・園という環境（ひと・もの・こと）に慣れ親しみ、信頼し、安心して過ごす。
- ・一人ひとりのものの見方や考え方を大切にされ、安心して表現する。
- ・ただ存在する喜びを感じる。
- ・くつろいで過ごし、心身の疲れが癒される。

【安全・健康】生命の保持

- ・生理的欲求が、十分に満たされる。
- ・のびのびと体を動かし、さまざまな運動を楽しむ。
- ・保育者とともに病気の予防や基本的な生活習慣の形成に取り組み、健康に気をつけて過ごす。
- ・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方がわかり（3・4・5歳）、保育者とともに安全に気をつけて行動する。
- ・自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。（4・5歳）